

ケンタ通信

92号



新ポスター
完成!!



現有7議席+女性で 高槻維新!!

大阪維新の会高槻市議会議員団は4月、竹中健議員の加入で公明(8名)に次ぐ第2会派(7名)となりましたが、全員が男性です。そこで、来年4月の統一地方選挙で第1会派(9名以上)を目指すにあたり、維新の会高槻支部では女性候補発掘プロジェクトチームを発足させ、新たな仲間を募集中です。

議会改革や、大阪府や大阪市が主導した「職員の政治的行為の制限に関する条例」の制定など、維新の高槻市議団が公約を議論しています。お問い合わせは下記まで。

日本維新の会 大阪府高槻市・三島郡支部
TEL 072-691-1600
ishin.takatsuki.kobo@gmail.com

松浪ケンタ [プロフィール]

大阪府議会議員、関西広域連合議会総務常任委員会委員長。昭和46年生まれ。清風高校、早稲田大商学部卒。産経新聞記者を経て衆議院議員を5期務め、大阪都構想実現のため、大阪府議会に転じた。道州制をライフワークとし、大阪都構想の根拠法である大都市法の与野党協議責任者を務め、これまでに衆議院決算行政監視委員会委員長、内閣府大臣政務官(地方分権など)、厚生労働大臣政務官を歴任。



維新 府議会議員団 「医療政策調査研究会」 を設立

ケンタが会長に

大阪維新の会府議会議員団では、今年初めに医療政策調査研究会が設置され、ケンタが会長に就任しました。コロナ対応でも顕著ですが、医療政策は近年、国から都道府県に比重が移行。「大阪方式」ともいえる先行的な医療ビジョン策定を目指します。

■ 8団体からヒアリング

同研究会ではまず、医療現場のニーズを把握すべく、医師会をはじめ8団体からヒアリングを行い、その要望を行政に反映しています。

■ 「人生会議」を推進へ

「こんな最期を迎えるなんて・・・」



人生の終わりに、自分の意思を表明できない人は、7割にもものぼると言われています。どんな形で人生を終えたいのかを、事前に医師や家族と話し合い、決めておくことを「アドバンス・ケア・プランニング」と言い、その愛称が「人生会議」です。同研究会では、条例制定も視野にこの取り組みを推進しています。

関西広域連合 全員協で大阪府市が連携

ケンタの提案 実現

関西広域連合議会（右の点線内参照）の運営を協議する全員協議会は、コロナ禍と災害時の緊急対応をふまえて、リモートで開催されるようになっていきます。

大阪の二重行政ではないですが、県庁所在地の府県議会と市議会は、ことあるごとに別々に動きがちです。そこでケンタは「府県庁所在地では、政令市議会と府県議会の距離が近く、セットで開催すれば、災害時の

対応強化や職員の負担軽減につながる」と提案。8月18日に大阪が他に先駆けて実現しました。

【関西広域連合とは】

府県レベルの日本初の特別地方公共団体。いわゆる近畿2府4県に鳥取と徳島が加わって発足し、現在では域内の4政令指定都市が参加している。ドクターヘリの共同運用や広域の防災、産業振興などを行っている。

議会（定数39人）が設置されており、構成団体の各議会から議員が選ばれる。大阪府議会の場合は、5人の府議が府議会の承認を経て、連合議会の議員として選出される。



▲大阪では府市議会選出議員が同じ場所で会議に臨んだ＝8月18日、大阪府庁